

平成 30 年 3 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

3 月の業種別景況の前月比 D I 値は 14 業種の内、好転が 6 業種、昨年同等が 6 業種、悪化が 2 業種となり、全体の景況感 D I 値も 2 月に比べ改善した。

窯業・土石製品からは厳しい状況が続いているとの報告もあったが、繊維工業、卸売業、サービス業等では年度末需要や季節商品需要等により、売上が増加しているとの報告があった。山口県の中小企業は人手不足が深刻化しており、人件費や原材料の値上げなどコストの上昇から収益の改善に結び付いていない。

山口県の主要指標 DI 値 (平成 30 年 3 月末現在)

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 10.0% 悪化： 22.5% DI 値： ▲12.5% ポイント

売上高 (< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)

前年同月比は、増加： 25.0% 減少： 27.5% DI 値： ▲2.5% ポイント

収益状況 (< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)

前年同月比は、好転： 20.0% 悪化： 21.3% DI 値： ▲1.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況) (平成 30 年 3 月末現在)

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲28.6	0.0	▲33.3	▲50.0	▲33.3	0.0	50.0	▲15.1
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
40.0	▲22.2	▲100.0	9.1	▲30.0	28.6	▲100.0	▲10.6
							

全 体
▲12.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	量目を減らし、販売を開始（値上げ）したことにより、少し売上が増えたところもある。	調味料製造業
	長年にわたり主要事業であったもち米の契約栽培にあたり近年の菓子業界の経営事情を鑑みて見直しが必要な時期である。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	組合員によっては雇用状況が厳しい。	パン・菓子製造業 下関市
	3/24 時点の売上は、対前年同月比でほぼイーブンである。隣接公園の河津桜は例年3月初旬に開花するが、今年は寒波の影響で1週間程度遅れ客足にも若干影響があった。朝日新聞・YAB放送・NHK山口局など県内メディア中心にパブリシティ露出も順調。	水産食料品製造業 萩市
	季節的に物が動きにくい時期。原材料の値上げがじわじわと影響している。また、配送料の増加も大きく、人手も確保しにくい。今後の世の流れが読みづらい。	水産食料品製造業 下関市
	3月は、低温の日もあったが、天候が回復し、野菜価格の安定が見込まれる。ただ、月末には、異常な高温状態になるなど、天候の異変状況が高まってきている。突然の自然災害へ対応できるような、仕組みづくりが必要になってきている。地球温暖化をこれ以上進めない社会づくりのため、日本においても、公共交通の燃料電池車への切り替え、水素ステーションの増設や家庭用燃料電池の普及など、具体的な取り組みが必要となる。	精穀・製粉業
繊維工業	3月から夏物の生産が始まっている。又、春物の追加発注も同時に有るため生産調整が大変な状態である。4月からは秋物の生産を控えているが、同一のことが考えられる。例年になく、今年は生産時期が集中している。	外衣・シャツ製造業
	学生服は入学前で忙しい。外国人技能実習生を新たに受入希望の会社が多い。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	組合員企業の機械故障により徳地材が生産できていない。他はほぼ変化なし。	製材業・木製品製造業 山口市
	新築の受注が非常に少ない。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	年度末の需要期を迎え、パンフレット等の受注量は例年並みに確保できている。	印刷 下関市
	3月度は休日出勤もほぼなく、静かに年度末を終えた。	印刷 山口市

<p>窯業・土石製品</p>	<p>3月の出荷量は (平成29年3月) 骨材 86%、路盤材59%、再生材116% ↓ (平成30年3月) 骨材123%、路盤材137%、再生材100% 県の土木予算もない状況で、平成30年度は前年度に比べさらに入札がなく、厳しい状況が続く。今月は新山口駅周辺の開発工事と民間工事が少しあった程度。</p>	<p>砕石製造業</p>
	<p>出荷量は、前年比117%、前年同月比105%。現時点ではセメント・骨材等の資材調達で、特に問題は生じていない。生コン価格は安定している。</p>	<p>生コンクリート製造業</p>
	<p>組合自体の動きは少なくなってきたが、支部の動きが活発になってきている。昨年同様、山口市湯田温泉で開催される白狐まつりに山口支部が出店して石材業界のPRを行う予定である。防府支部では昨年からの作品出展をしているがこのような輪が広がっていき、組合の活性化に繋がることを願う。</p>	<p>石工品製造業</p>
	<p>3月21日～25日に福岡マリンメッセで行われた陶磁器フェアでは、萩焼が10店舗出店(当組合2社)し、初日雨天だったものの、その後天候にも恵まれ、例年通りの賑わいと売上(組合員データ)となっている。ギフト・卸関係・百貨店・浅草アンテナショップ・明倫学舎の売上は前年同月比で同等となっている。萩商工会議所が運営している「e萩焼.COM」(組合8社出店)の1～3月の売上は低迷している。</p>	<p>陶磁器・同関連製品製造業</p>
<p>一般機器</p>	<p>年度末でもあって全般的に良好。海外プラント関係・鋼構造物(鉄骨建屋関係)も順調。組合員1社が当月で脱退。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>機械検査、機械加工関係、食肉加工、総菜、自動車、造船関係等すべての職種の業績は好調で残業も多く、外国人技能実習生受入増員の相談が多い。また、技能実習生の増加に伴い、指導者としての、高度技術者の受け入れ相談も多い。制度改正に伴う、3号移行者の第1号が今月入国し、今後とも増員の傾向にある。介護の受入については、複数の施設から相談、要望があるが、現行制度のままでは対応が難しい。</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>
<p>輸送機器</p>	<p>車両・半導体製造・産業プラントの3部門関係組合員の作業量は先月に引続き好調な状況を呈している。上期はこの状況を維持する見込み。作業量の消化対策が課題となりそうである。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
<p>卸売業</p>	<p>3月になって、海苔の価格が安くなり、対前年同月比で在庫が4.8%、売上が3.8%、在庫が11.4%増加となった。</p>	<p>乾物卸売業</p>

	”ふく”は安値が続いている。鮮魚の入荷が少ない。	生鮮・魚介卸売業
	年度末納入商品が増加、収益増。	各種商品卸売業
小売業	4月21日にシーモールがリニューアルオープンをして、1週間ほど売り上げは良かった。下関地区の組合員数が年々減っていき、10年前は30店舗あったが現在は12店舗に減少。	化粧品小売業
	3月は年度替わりの時期であり、慌ただしく内部調整を行った。気温に影響を受ける業種・業態では、不安定な気温であった為日々の売上が低下し、全体在庫は微増の傾向にある。飲食業は歓送迎会の需要が大きい時期であり、春を迎えてさらなる加速をするものと思われる。岩国市では、4月は錦帯橋観光にかかわる需要があるので、各業種・業態では販売促進対策を実施していくことが重要になる。	各種商品小売業 岩国市
	3月はイベントや山口井筒屋での北海道展もあり、客数が多かった模様。卒業入学などもあるため先月よりは良い。4月・5月もイベントがあるので期待している。客を引き寄せるイベントも考えたい。	各種商品小売業 山口市
	先月同様、前年に比べ商店街への来街者数が激減している。気候も暖かくなってきたので、来客数に繋がって欲しい。	各種商品小売業 下関市
	ほとんどの業種店舗の売上及び客数が前年を下回っており厳しい状況が続いている。	各種商品小売業 長門市
商店街	気温の上昇とともに来街者増加の傾向で、各店舗活気が出てきたが、人手不足が続いている。さらに、年度末へ向け、資金調達、人手不足、後継者問題と抱える問題も多い。	山口市
	月末に一店閉店。空洞化が進んでいる。	宇部市
	生鮮野菜の売上がやや上向き。衣料もシーズンでもあり忙しい様子。天候が良く来街者も多い。飲食店で昼夜営業していたのが夜だけとなった店があり、来街者数に影響がないように願う。	萩市
サービス業	2月の寒さで客数が伸びなかったせい、3月に入り異常に忙しい日々が続いた。卒業式シーズンは終わったが、このまま好調が続けば売上也伸びる模様。	美容業
	寒さも落ち着き来店サイクルが戻りつつあり、今後に期待したい。	理容業
	当組合の中央団体から「分解整備業実態調査」の結果が公表された。この調査は、全国の自動車整備業の現状及び経営状況を把握することが大きな目的となっているが、3年ぶりに総整備売上高は増加に転じており、明るいニュースとなっている。しかし、整備作業内容別では、事故整備が唯一マイナスとなっており、その理由として近年新型車に搭載されている被害軽減ブレーキ等の先進安全装置が、高い割	自動車整備業

	合で搭載されてきており事故が減少してきていることが影響していると言われている。	
	依然として人手不足が続いている。	スポーツ・健康教授業
	例年にない3月の暖かさが続くおかげで、ダウンやオーバーなどの冬物衣類が早い段階で出始めている。ここ数年では例に無いスピードで衣替えが進んでいる模様。例年に比べると売上が増加で推移しているが、春の繁忙期が早く始まったというだけで、長く続く見込みは薄いと話が出ている。人口減少、クリーニング需要減は歯止めがかからないという意見が多い。	普通洗濯業
	観光客を迎え業界の活性化を期待。	旅行業
	宿泊者数は対前年同月比102%、売上は対前同月年比101.1%と増加した。中国からの旅行者が多かったのが要因と考えられる。	旅館業 山口市
	売上高は対前年同月比で変化なし。施設利用者（入浴者数）は変わらず。施設の故障が前年末に発覚し、修繕費や加熱費、水道光熱費がこの3か月間に大きく影響した。老朽化による機械設備の更新に迫られている。	旅館業 長門市
	3月初旬は寒さの影響で行楽客の流れが悪く、飲食も多少悪かったが、全体的には不変。	旅館業 下関市
	野菜等の仕入価格が安定してきた。天候もよくなり、年度末の送別会、花見などの客足が伸びてきた。学生を中心にアルバイトの入れ替わりの多い時期でもある。ゴールデンウィークまで良い流れを続けていきたい。	飲食業
建設業	山口支部の中電への工事申請は121件。太陽光発電の申請18件。オール電化申請73件。LED街路灯への切替・新設の申請は27件であった。	電気工事業
	繁忙期を迎え技能者不足の事業所もあるが全般的な工事量は減少している。今年の決算については完成工事高・純利益とも前半を下回る事業所が多くなると推測される。技能者の数がこの20年で半減しているものと思われる。	左官業
	他の業種からの参入が増え競争が激しくなり入札価格が低価格化。仕方なく低い価格で入札するが、人手不足のため、人件費他コストが上がっており、収益の状況は悪化している。機械単価等で30年据え置き価格があり、市に価格の根拠を求めたが出て来ず、時代が変わり使用する機械も高度化したためレンタル価格と見合わない状況が続いていた。個々の会社では入札に影響するのではないかと思い、申し出ることもままならない。この度組合として計算根拠を作成し価格交渉をしたところ、単価アップが	管工事業

	<p>実現。技術者は高齢化し退職者も増え、日雇いの技術者が増え業界を支えている。人手不足から入札に手が上げられないこともある。外国人を雇用している組合員は今は無いが、いずれ検討しなければならないであろう。</p>	
	<p>先日発生した島根県西部地震により、「瓦屋根は地震に弱い」という風評被害が再燃しそうである。瓦業界にとっては多いに逆風。新築着工数のなかで瓦屋根の占める割合が減少傾向にあり、仕事量の確保が厳しくなっている。</p>	屋根工事業
	<p>初旬は3月末完工の物件の残工事で忙しかったが、それ以降は民間の小規模の物件で繋いだ感じであった。4月から6月頃までは暇になるのではないかと思う。</p>	内装工事業
	<p>組合員の一部は、年度末ではあるが公共工事の持ち手工事がなく困っており、農協等の合併に伴う雑工事で凌いでいる状況である。また、技術者及び技能者が確保出来ないため受注に対して大変困っている組合員もある。人材確保の方法がないか相談があった。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>受注高は、対前年同月比105.4%。今年度の累計は、対前年比58.3%。</p>	土木工事業 萩市
運輸業	<p>輸送関係は月半ばより輸送量が徐々に増加。長距離ドライバー不足ながら荷主要求の約90%の輸送率。前年同月比は約0.9%のプラスである。燃料費は0.3円値下げ。少額ながら値下げが見られることは中小運送業者にとっては朗報である。</p>	一般貨物自動車運送業 下松市
	<p>輸送受注は、対前年同月比5%程度のプラスとなり7か月連続の増加となったが運転手不足によりやりくりが大変である。燃料費は一時、下がり気味となったが再び上昇の気配がある。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>夏タイヤへの履き替えを順次行っている。季節物の配送物が入ってきている。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>前年比7.8%の減少。昼間の無線配車は、無い月もある位減少している。夜間の売上も少なくなっているようである。</p>	一般旅客自動車運送業 下関市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額は、前年同月比+1.4%（平成30年2月1日～平成30年3月20日分）。2月1日～28日分は▲1.8%、3月1日～20日分は+6.3%であった。2月分は1月分（▲7.7%）に続き減少となった。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域であり、2月分については、周南▲3.8%、下松+10.9%、光+7.8%、防府市地区が▲6.9%で、組合員の全域では▲1.9%、地区外（員外）▲0.6%で合計▲1.8%であった。主要燃料であるLPGについては、</p>	一般旅客自動車運送業 周南市

	<p>CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、CPが下がり（前月 537.5\$/トンが今月 485.0\$/トン、前年 600.0\$/トン）、輸送用バンカーC重油は（前月 390.0\$/トンが今月 373.0\$/トン、前年 321.0\$/トン）上がったが、為替も円高（前月 111.9円/\$が 109.0円/\$）になり、前月より▲5.5%減少。前年3月に高騰したので、対前年同月比で▲10.4%となった。タクシー乗務員は慢性的に不足し稼働率が下がっているため、曜日や天候、時間帯によっては配車が大幅に遅れるような状況もある模様。好調と言われる景気がたいへん弱く、個人消費の増加にまではつながって来ていないという事だと思う。</p>	
	<p>今月も取扱高は、対前年同月比若干減少している。全般的には、大幅な変化はなし。</p>	港湾運送業
その他非製造業	<p>3月に入り気候も穏やかになったことから利用者の顔色も明るくなったと思う。</p>	介護事業